

月にみがきて



更級小学校だより
No. 7 H27. 10. 30

縄文人になりきって、縄文まつりを盛り上げたよ!!

10月25日(日)、秋晴れのもと、第23回縄文まつりが開催され、全校で参加しました。縄文まつりに向けて、子どもたちは村長の豊城 巖さんから縄文まつりの意義などを伺い、祭りへの気持ちを高めました。また、5・6年生は縄文まつり実行委員の方と係ごとの打合せを行い、“火おこし”や“縄文編み物”などの進め方を学んで、まつりをつくり上げる一員としての自覚も高めていきました。

そして、当日。生き生きと活躍する子どもたちがいました。

【開村式】〈6年生による鼓笛隊演奏〉



〈5年生による火おこし〉



【豊穰儀礼】〈捧げ物をもって入場〉



〈恵みへの感謝〉



【係活動】〈きびもち係〉



〈焼き肉係〉



【まつりを楽しむ】



【出店】〈5年生縄文ファンシーショップ〉



〈6年生新縄文まがたま屋〉



【芸能村での発表】



【まつりのフィナーレ】



まつりを楽しんでいる子どもたちの様子や豊穰儀礼や各係の活動に一生懸命取り組む様子、体をいっぱい使って芸能村で発表する姿など、子どもたちは本当によく活躍したなあと思います。縄文まつり実行委員会の皆さんからは「子どもたちの力でまつりを盛り上げてもらった」とお褒めの言葉をいただきました。

縄文まつりに参加させていただき、子どもたちは地域の皆さんの更級への思いにふれ、自分も更級の地をつくっていく一人であることを学べたと思います。縄文人になりきることを通して、“更級人”であることを学べた一日でした。

〔文責 塚田直道〕